

音色のちがいを比べて楽しもう

(4 時間扱い)

1 . 題材のねらい

素材による音の特徴や音色の違いを感じ取って，奏法や表現を工夫できるようにする。

旋律の特徴や音色の違いを感じ取って，音の組合せを工夫しながら，即興的に簡単なリズム・旋律づくりなどの音楽表現ができるようにする。

2 . 教材について

小学校学習指導要領

< 第 3 ・ 4 学年の内容との関連 >

(1) 身近な音で楽しもう

A(4)ア

A(4)イ

いろいろな音色の違いを感じ取り，より楽しい表現を工夫する教材。手作り楽器，奏法による音色の違い当てクイズ，身近な素材による即興的な音楽表現などの活動を通して音色の違いに関心をもったりそれぞれの素材の持つ音色の響きを味わったりするようにしたい。

(2) ラテン楽器とマレット

A(3)イ

A(4)ア

B(1)ウ

素材による音の違いを感じ，奏法を工夫ながら曲想に合った楽器やマレットによる音色作りを工夫する教材。マラカスやクラベス，ギロなど比較的子どもたちに親しみやすいラテン楽器の奏法や，マレットによる音色の違いを知り，それぞれの素材のもつ固有の音色を感じ取るようにする。音色の特徴に関心をもって表現を工夫していけるようにしたい。

(3) 音のカーニバル 作詞 芙籠明子 / 作曲 橋本祥路

A(1)ア

A(1)イ

A(2)イ

A(2)イ

A(4)ア

B(1)ウ

打楽器や身近な物でつくった音を使って，歌と一緒に楽しく表現するための教材である。リズムパートを表現するために，音色を考えて組み合わせを工夫すると，音の対比や変化のおもしろさを味わうことができる。この曲では，歌のために音を入れるという発想ではなく，音をつくる活動で生まれた様々な音素材をこの歌で生かす，といったとらえ方で活動を進めるようにしたい。

3. 題材の評価規準

Aと判断する子どもの姿

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	<p>楽器固有の音色や身の回りのいろいろな音の響きに関心を持ち、音楽表現を楽しんでいる。</p>	<p>楽器固有の音色の特徴に気づき、演奏の仕方を工夫している。</p>	<p>八長調の読譜に親しみ、楽器のもつ固有の音色や身の回りのいろいろな音の響きを生かして演奏している。</p>	<p>楽器の音色に関心を持ち、ラテン楽器の音色の特徴を感じ取りながら聴いている。</p>
学習活動における 具体の 評価 規準	<p>音楽の流れを大切にしながら、楽しんで歌おうとしている。</p> <p>音楽の流れを体全体で表現 表情が豊か</p> <p>身の回りのいろいろな音や楽器の音色の響きに注目し、自分の思いやイメージをもとに表現する活動に進んで表現しようとしている。</p> <p>楽器の音色の違いを数多く発見 自分の思いやイメージを音で表現</p> <p>ラテン楽器の音色に関心を持ち、個々の楽器に取り組もうとしている。</p> <p>楽器をいろいろ試している 友達と合わせながら楽しんで活動</p>	<p>様々な音の素材や奏法による違いを感じ取り、リズムや音の組合せを生かした表現の工夫をしている。</p> <p>音の出し方をいろいろ試す 効果的なリズムや音の入れ方を工夫</p>	<p>八長調の読譜に親しみ、楽譜上で音を確かめながら視奏している。</p> <p>スムーズな読譜</p> <p>楽器や声、様々な音の出る素材を使って、いろいろな音の響きやリズムの組合せを工夫し、音楽表現を楽しんでいる。</p> <p>友達のよさを見つけ、アドバイスを聞き入れて工夫 音の響きに注意し、そのよさを引き出す工夫</p> <p>リズムに合わせて演奏したり、拍の流れに乗って、伸び伸びと歌ったりリズム打ちをしたりしている。</p> <p>正確にリズム刻む 拍の流れにのった身体表現</p>	<p>ラテン楽器の音色や演奏の仕方に関心を持ち、楽器や声の組合せによって生まれる響きを感じ取りながら、教師や友達の演奏を聴いている。</p> <p>自分の言葉で感じ取ったことを表現 組合せの違いによる響きの違いを数多く発見</p>

4. 指導と評価の計画

: 取り扱い項目

: 取り扱い重点項目

	学習活動	題材の 評価規準	指導要領 との 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>「紙素材」を生かしたリズム表現を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な「紙素材」の物から，言葉をイメージし，ラップ遊びをする。 ・「紙」を「どうする」と「どんな音がする」かを互いに発表し合い，素材と奏法の違いを見つけ合う。 ・「紙素材」のグループで，素材を生かした奏法によるオリジナルリズムをつくって楽しむ。 ・それぞれのリズムを重ね合わせ，全体をまとめる。 ・「紙」をそれぞれリズムに合わせてちぎり，身体表現やかけ声などを入れて，全員で楽しむ。 	ア -	A(4)イ					発表 行動観察 感想カード
		ウ -	A(4)ア					
		ア - ウ -	A(4)イ A(4)ア					
2	<p>ラテン楽器の音色の特徴を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラテン楽器の音色を聴く。 ・興味をもった打楽器を選び，その楽器固有のいい響きが出る奏法を知り，試してみる。 <p>奏法を工夫して，いろいろな音色をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木琴のいろいろなマレットによる「音色の違い当てクイズ」をする。 <p>楽器や使うマレットの組合せを工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色の違いを生かして，楽器やマレットの組合せを工夫し，つくった音を楽しむ。 	エ -	B(1)ウ					行動観察 演奏視聴 発表 感想カード
		ア -	A(3)イ					
		ウ -	A(4)ア					

3	<p>曲の雰囲気や特徴を感じ取って歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音のカーニバル」のCDの演奏から、曲の構成や旋律の特徴について気付いたことを発表し合う。 ・読譜し、曲の感じをつかんで演奏する。 ・拍の流れを感じ取って、休符の部分で手拍子を打ちながら歌う。 <p>曲想に合うリズム伴奏をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で一つのリズムをつくり、その部分のリズムを手拍子しながら歌う。 ・リズムの感じに合う楽器の組合せを工夫し合う。 	ウ - ア - イ - イ -	A(1)イ A(1)ア A(4)ア A(4)ア					<p>行動観察 発表 演奏聴取</p>
4	<p>歌と打楽器を合わせて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに音色の違う楽器を組合わせて、効果的な音の組合せを工夫したり、歌と楽器のバランスを考えたりしながら協力して練習する。 ・拍の流れを感じ取りながら、歌に合わせて演奏する。 ・互いに発表したり鑑賞し合ったりしたりしながら、よさを見つけ合う。 	ウ - ウ - エ -	A(4)ア A(2)イ B(1)ウ					<p>行動観察 学習カード 演奏発表 演奏聴取 発表</p>